

# 立教大学の 海外プログラム

立教大学国際センター

「保護者のための大学案内」  
P24～28をお開きください

## 本日の内容

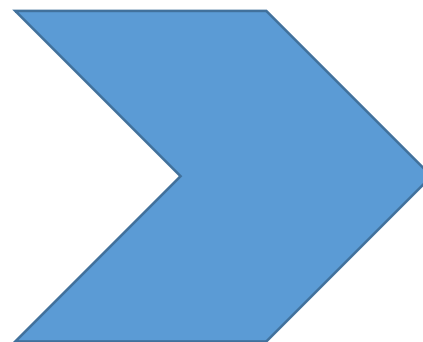
- ① 海外プログラム紹介  
～全学生対象のものを中心に～
  - 短期の海外プログラム
  - 中・長期の海外プログラム
- ② 支援体制
- ③ まとめ



# 留学を考えるにあたってのポイント

## 留学目的の明確化

- なぜ留学したい？
- 留学先で何を学びたい？
- どこに留学したい？
- いつ留学したい？
- 留学経験を、将来どのように生かしたい？



自分に合った  
留学プログラムを  
見つける

留学で得られる  
機会・効果を  
最大限に生かす  
ことができる



# 立教大学の海外プログラムの種類

## ①短期の海外プログラム

- 夏休み、春休みの長期休暇の実施が多い。
- 英語力や成績が参加の条件となっていないことが多い。
- 長期留学ほど準備を必要としない。
- 比較的に思い立ってから参加しやすい。

→海外経験がない、中・長期留学に向けたFirst Step、長期留学に行く時間が確保できない

合計で65以上のプログラム（渡航先80以上）  
2019年度は1,098名が参加

全学生対象

各学部主催

## ②中・長期の海外プログラム

- 英語力や成績が参加の条件となっていることが多い。
- 期間が長い分、腰を据えて勉強にも課外活動にも取り組める。
- 深い人間関係を構築する機会が多い。
- 壁にぶつかる機会が多い。
- 語学力も異文化対応能力も大きく向上することが期待できる。

合計で200以上の派遣先  
2019年度は331名が参加

全学生対象

各学部主催



# 短期の海外プログラム（1週間～6週間）

## 全学生対象のプログラム

- 語学研修
- 異文化理解
- 海外インターンシップ
- サービスラーニング

## 各学部主催のプログラム：実施する学部の学生に参加の機会が提供

すべての学部が、上記の要素に加えて、**学部の学びに結びつくプログラム**を展開。他学部でも参加可能なものもあり。

- 語学を学びながら**特定のテーマについて学ぶ**
- **専門分野の学び**を深める



# 短期の海外プログラム

語学力を伸ばす

全学生対象

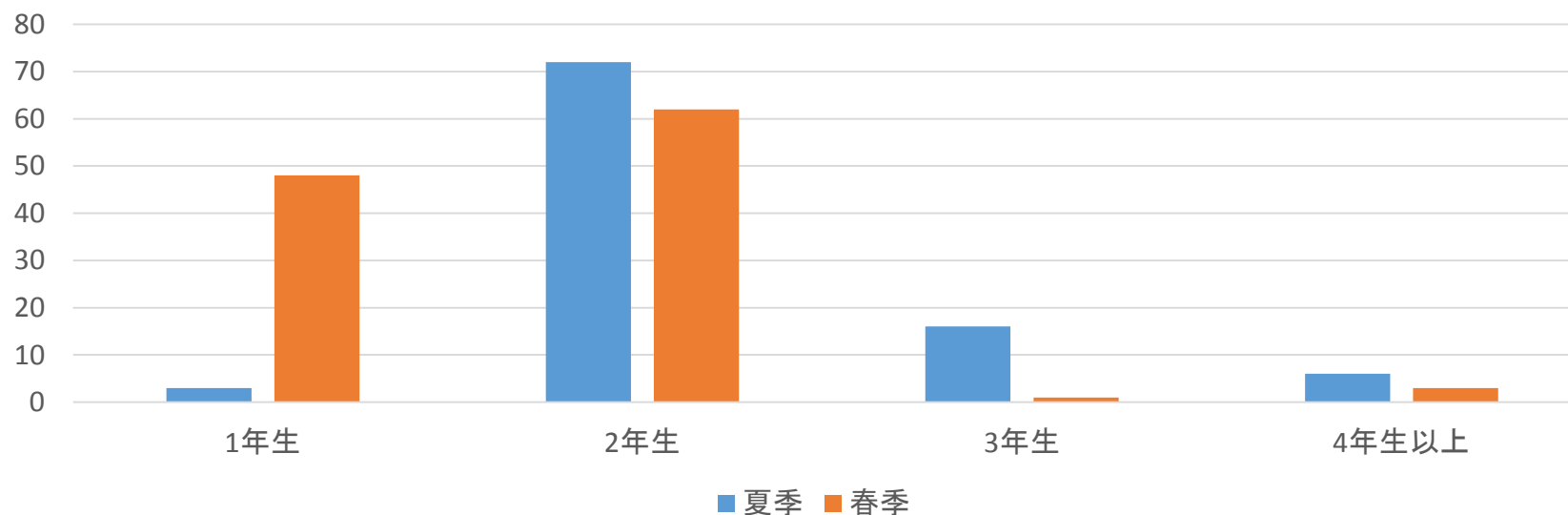
	短期英語研修プログラム (国際センター主催)	全学共通科目海外研修
	海外の大学で開催される 短期英語研修プログラムに参加	短期間に現地言語の運用能力を高めると同時に、 文化に対するより深い理解に到達する
実施時期	夏休み（8月）、春休み（2-3月）・3-4週間	夏休み（8月）、春休み（2-3月）・2-4週間
実施先	(2019年度) 夏：ハワイ、カナダ、アイルランド オーストラリア等 4プログラム 春：ハワイ、カナダ、アイルランド、 オーストラリア、マレーシア、アメリカ本土 6プログラム	夏：セントポール文化交流研究所（アメリカ）、 ライプツィヒ大学（ドイツ） ブルゴーニュ大学（フランス）、 アラカラ＝デ＝エナレス大学（スペイン）、 国立台湾師範大学（台湾）、聖公会大学（韓国） 春：国立台湾師範大学（台湾）
説明会	夏：4月上旬 春：7月	夏：4月上旬 春：7月
費用の目安	約35-70万円程度	17-50万円程度



# 参考データ

## 国際センター主催の短期英語研修

語学研修参加学年



- ・1年生夏季は入学直後のためほとんど参加せず（申込が間に合わない）、1年生春休みより3年生夏までに多くの学生が語学研修を経験する。
- ・4年生は単位化されないが就職前の経験として参加する傾向あり。
- ・3年生春休みは就職活動のため少ない



# 短期の海外プログラム

全学生対象

## 実践的な学び

### 海外インターンシッププログラム (グローバル教育センター主催)

海外での実践的な就業体験  
および生活の機会を得られるプログラム

実施時期	夏休み（8-9月）、春休み（2-3月）・ 2-4週間
実施先	現地の連携企業 等
説明会	夏：4月      春：9-10月
費用の目安	約30-80万円

## 異文化理解、現地の人との交流

### 延世・慶應・立教・復旦リーダーシップフォーラム (国際センター主催)

日中韓3か国の学生が世界の課題について議論を展開し、  
さまざまな視点からリーダーシップの在り方を学ぶ

実施時期	夏休み（8月）・約1週間
実施先	2020年度：中止 2021年度：復旦大学（上海）
説明会	4月
費用の目安	約8万円程度



# 中・長期の海外プログラム

## ①専門分野の学びを深める：派遣留学（交換留学）

全学生対象

大学間協定に基づく派遣留学制度

その学部に  
所属する  
学生対象

学部間協定に基づく派遣留学制度

文学部、社会学部、法学部、観光学部、経営学部、  
異文化コミュニケーション学部、GLAP

## ②語学力向上（＋専門分野）：授業料非免除 海外留学プログラム(アメリカ)

## ③実践的な学び：国連ユースボランティア、海外インターンシップ等





# 中・長期の海外プログラム

全学生対象

## 大学間協定に基づく派遣留学制度

### 立教大学と海外大学との協定に基づく海外留学制度

留学先	26の国・地域95大学・機関から留学先を選択	
派遣人数	1つの協定校に1～3名程度を派遣	
派遣期間	1年または半期	
費用	原則、留学先大学の学費は免除（一部の協定校を除く）	経済的負担軽減
現地での学び	<u>専門分野の学びを深める</u>	語学要件あり・準備期間を要する
選考	語学選考→小論文選考→面接選考	厳正な選考
応募時期	春出発（2～3月）：出発の前々年の12月または前年の6月に応募 秋出発（8～9月）：出発の前年の9月または12月に応募	突然思い立っても、留学できない



# 中・長期の海外プログラム

## 留学中の学籍

### 在学留学

- 留学期間中も在学状態
- 留学先で修得した単位は、本学の卒業要件単位の一部として単位認定されるよう申請が**可能**
- 卒業要件単位を修得し終われば、入学した年度から4年間で卒業可能

### 休学留学

- 留学先で取得した単位を、本学の卒業要件単位の一部として単位認定されるよう申請することは**不可**
- 入学した年度から4年間で卒業することはできない
- 就職活動など留学以外に取り組むための十分な時間を確保することができる



# 費用の目安

留学先大学の学費	原則免除（一部協定校を除く）
住居費	約6万円～15万円/月 ※食費が含まれる場合もある
渡航費	約10万円～20万円
保険料	約10万円～12万円
合計	約100万円～200万円/年

## 大学間協定に基づく派遣留学制度

立教大学 学費	在学留学	全額 （約100～180万円/年）
	休学留学	半期毎に在籍料6万円 （12万円/年）

その他、ビザ取得費用、食費、現地交通費、現地保険料、学習資料費、通信費、交際費 など



# 参考データ

## 大学間協定に基づく派遣留学制度

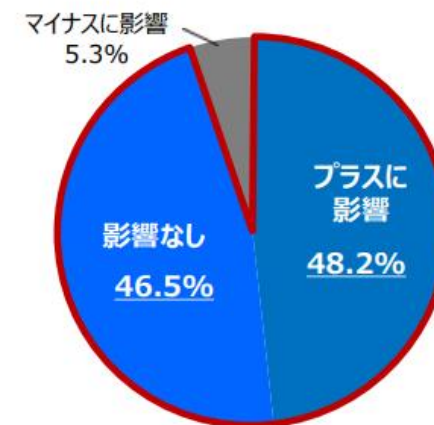
### 2019年度派遣留学生学年構成( )内2018年度

2 年次	3 年次	4 年次
45% (38%)	44% (40%)	11% (20%)

### 2019年度 派遣留学生 在学・休学留学の割合

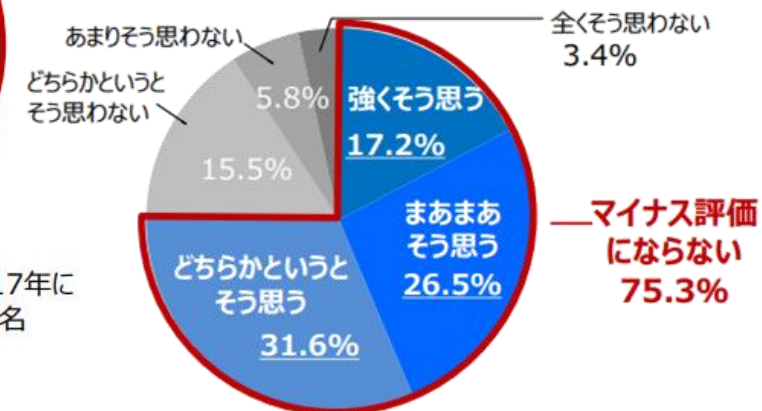
在学留学	休学留学
46% (44%)	54% (56%)

## ⑥「留学による留年・休学が就職活動に影響したか」



n = 留学の影響で留年・休学し、2017年に就職活動を経験した派遣留学生226名

## ⑦「留学するために留年・休学することは採用においてマイナス評価にならない」



——マイナス評価  
にならない  
75.3%

出典：トビタテ！留学JAPAN「就職活動と留学に関する意識調査」  
(2017年6月調査)



# 中・長期の海外プログラム

全学生対象

授業料非免除 海外留学プログラム（アメリカ）

実施先大学附属の英語教育機関にて英語を中心とした授業、  
または正規課程にて専門科目の授業を受ける

実施先

- ・ ケント州立大学（オハイオ州）
- ・ セントクラウド州立大学（ミネソタ州）

実施時期

8月～12月（半期）、8月～翌年5月（1年）

出願から渡航まで短期間

応募時期

出発年の3月中旬～4月上旬

現地での学び  
（3つのパターン）

- ①英語学習を重点的に行う（**英語要件TOEIC400点以上等**）
- ②専門分野の学びを重点的に行う（**英語要件あり**）
- ③（1年の場合）  
1学期目に英語学習→2学期目に専門分野の学び

費用

留学先大学に学費を支払う必要あり

学籍

派遣留学に準じる。「在学留学」または「休学留学」



# 中・長期の海外プログラム

全学生対象

国連ユースボランティア  
(グローバル教育センター主催)

国連ボランティア計画が大学と連携して、  
学生を開発途上国へボランティアとして派遣

実施先	開発途上国の国連事務所等の機関 ・2017年度1名:フィリピン ・2018年度2名:インドネシア、モザンビーク ・2019年度1名:カザフスタン
活動内容	ウェブサイト作成などの広報活動、プロジェクト運営の支援などを通して、教育、環境、保健衛生などの分野の活動に携わる
実施時期	9月～2月（約5か月）
説明会	12月
費用	約20～30万円

## 認定校留学制度

個人の私費留学を大学として認定する制度

対象機関	学位授与権のある大学または高等教育機関、および大学附属の語学学校	
期間	90日以上1年以内	
学籍	派遣留学に準じる。「在学留学」または「休学留学」	
申請時期	留学先のオリエンテーション開始時期によって、申請時期が異なる。	
	オリエンテーション開始時期	申請時期
	2020年5月～7月	2020年3月中下旬
	2020年8月～10月	2020年5月中下旬
	2020年11月～2021年1月	2020年9月上旬
	2021年2月～4月	2020年11月中下旬



# 支援体制

## 奨学金（本学が実施する海外プログラムに参加する学生対象）

立教大学グローバル奨学金	年額0~60万円	経済支援を必要とする者を対象とする制度 ※2020年度より制度変更
立教大学校友会 成績優秀者留学支援奨学金	年額20万円	成績が特に優秀な者を対象とする制度

## キャンパス内での国際交流

グローバルラウンジ	定期的に国際交流行事を開催 ▶外国語で会話を楽しむWorld Café、外国人留学生が母国を紹介するCountry Festa、外国人留学生と共に日本文化体験など。 ▶オンラインでの活動も整備中
国際交流ボランティア	交換留学生のサポート ▶来日時の出迎え、市・区役所での補助、日本語授業のサポートなど
外国語による日本研究科目	交換留学生と共に日本について英語で学ぶ



# ご家族からのご支援

留学するために  
必要なこと

①留学目的の  
明確化

②情報の収集

③日ごろの授業を  
大切にする

④語学の継続的に  
学習する

## 1) 学生の成長を促進させるためにご理解いただきたいこと

- 留学、研修に関する手続きは**自分です**ことで気づくことがある
- 留学先の情報を**自分で調べる**ことで新たな発見がある
- **自分で選ぶ**大学だからこそ、学習意欲が促進される

## 2) サポートしていただきたいこと

- 経済的支援をお願いいたします
- 不安を吐露した時、話を聴いてあげてください
- 留学について質問をしてみてください。目的を明確にする助けになります。
- 国際センターへ相談を勧めてください